



震災復興支援  
活動情報

Vol.45

# サポセン かわら版

〈発行〉 仙台市市民活動サポートセンター  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3  
TEL:022(212)3010 FAX:022(268)4042  
ウェブサイト: <http://www.sapo-sen.jp>  
E-mail: [sendai@sapo-sen.jp](mailto:sendai@sapo-sen.jp)

〈編集〉  
特定非営利活動法人 せんだいみやぎNPOセンター

2014年 2月15日(土)

「サポセンかわら版」では、東日本大震災で被災された方のサポート、お悩みやお困りごとのご相談、心のケアなどの活動を行う市民活動団体・NPO、企業の社会貢献による支援活動などの情報をお届けします。詳細については、各団体の連絡先に直接お問合せください。

## ARCT



文化芸術

### 見て、聞いて、体感して アートの楽しさをお届けします

ARCT(アルクト)は、震災を機に、演劇、ダンス、音楽、美術など表現活動を行うアーティストたちが集まり、今、アートが果たす役割は何かを問い続けながら活動を行ってきました。現在は、地域やジャンルを越えて、多様な人々がともに文化芸術を楽しめる環境を整備することを目指し活動を続けています。

ARCTの柱となる活動の中に、「出前活動」があります。これは、保育所、幼稚園、児童館や高齢者、障がい者施設などからの依頼に応じて、芝居やダンスの公演や、美術のワークショップなどを行ったりするものです。依頼側からのさまざまな要望に、出来る限り添えるようアーティスト同士がチームを組んでプログラムに工夫を凝らしながら活動しています。



▲文化庁・仙台市震災復興のための芸術家派遣事業(実施アーティスト:おはようシアター)

だ回復されていない方も多く、ARCTによる出前をとっても楽しみにしているそうです。  
お芝居をみたり、自由にダンスを踊ったり、絵を描いたり、一緒に参加することで、すこしずつ「笑い」や日常生活に「楽しさ」を取り戻されていく様子が、「アートのもつ力を実感する」と、事務局長の千田優太さんが話してくださいました。

これからも、アートを楽しみたいという人とアーティストをつなぎ、ひとりでも多くの方がアートに触れる機会をもてるよう活動を続けていきたいと考えています。演劇やダンスを楽しみたいのだけど、どこに声をかければ良いのか分からないという方は、ぜひ、ARCTにご相談ください。

#### ■お問合せ

ARCT(アルクト)  
TEL/080(1606)3105  
E-mail/info@arct.jp

## スマイル河原町

あなたの出来る「ボランティア」  
ボランティアしてみませんか?



思いやりの気持ちで、お互いに助け合い支え合い、心豊かな地域づくりを目指して、地域の関連機関と連携して活動しています。現在行っている、物作り教室と、ふれあいサロンのお手伝いをしてくださるかたを募集しています。

●問合せ・連絡先  
TEL&FAX/022(712)3467

## 「笑み舞」 smile project

嵐の数だけ笑顔がふえる  
連凧「笑み舞」



仙台市、石巻市、七ヶ浜町、気仙沼市、亘理町の被災地沿岸線でみんなが描いた凧を一齐に揚げます。中継会場ではスクリーン上映、書道パフォーマンス、朗読、ミニコンサートなど実施予定。詳しくはホームページを(「笑み舞」)で検索をご覧ください。

●日時/3月9日(日)

11時~16時

#### ●中継会場

泉中央ビルBSWING2階 特設会場

#### ●連絡先

TEL/070(6660)6616

## 仙台市環境局廃棄物管理課

あなたもアレマ隊として  
ボランティア清掃活動しませんか?



バス停の周りや信号待ちの歩道、アーケード街に落ちていたばこの吸い殻や紙くずなどの「ホイ捨てごみ」をみて、「なんとかしたいなあ」と思ったことはありませんか。地域清掃やボランティア清掃をするときに、ごみ袋の配布、清掃用具(火ばさみ)の貸し出しをしています。

●問/仙台市環境局廃棄物管理課  
TEL/022(214)8650

## 宮城県図書館 資料奉仕部 震災文庫整備チーム

震災関連資料を  
ご寄贈ください



震災関連の記録・写真、調査報告や復興の計画書、イベントチラシや配布物、個人・団体が作成した手記・記録・文集など、資料の形式は問いません。可能であれば3部ご寄贈ください。直接ご持参いただくか、左記へお送りください。

※郵送の場合の送料はご負担をお願いいたします。

#### ●問合せ・連絡先

TEL/022(377)8468  
仙台市泉区紫山1-1-1

イベント情報

仙台市

宮城野区文化センター

震災復興交流事業

あなたのオモイ

それぞれのカタチ

つたえるつながる

震災から3年。今後の震災復興のまちづくりについて、みなさんとともに考えます。オモイを伝え、伝わり、いろいろな人が、表現を出会う。語り合いながら、オモイをカタチにする9日間です。たくさん企画のなかから、見どころの一部をご紹介します。

- 日時/3月1日(土)～9日(日) ※3日(月)は休館日
- 会場/仙台市宮城野区文化センター
- 入場無料
- 主催/公益財団法人 仙台ひとまち交流財団
- 共催/仙台市宮城野区/宮城野区中央市民センター/仙台市市民活動 サポートセンター/ARCT
- 問/宮城野区文化センター TEL/022(2)517-1213

展示

●展示期間/3月1日～9日

●会場/3階ロビー

市民がつくる

みやぎの記録保存館

宮城野区の魅力を再発見し、みんなに伝えていきたいと思います。

- 地域再発見/地域のことをもつと知るために
- 地形から宮城野を読み解く！
- わすれぬ！の映像記録

ふるさと中野・岡田写真展

震災前に撮影された中野・岡田地区の風景写真を展示。

おしえてください昭和の仙台

『JALTRAV』『みやぎの昭和30～50年代の懐かしい仙台や宮城野区の写真を展示。』

市民発、地域情報

震災後、様々なかたちで発信された発行物を一堂に集め展示。

ミニトーク

西原新聞をつたわる

西原新聞の編集委員のみなさんと、せんだい男女共同参画財団理事長木須八重子さんによる、今だから明かせる取材秘話。

●日時/3月1日(土) 10時～10時45分

会場/3階ロビー

おにぎりを握る、それもダンス

台所で料理する、てきぱきとした無駄のない動きはまるでダンス。磯島未来さんの振付による、岡田手づくりアグリのお母ちゃんたちのダンスをご覧ください。

●日時/3月1日(土) 11時～11時45分 ●会場/3階ロビー

みんなで探ろう！岩切の歴史

岩切歴史探訪の会と澤野正樹さん(短距離男道ミサイル)の案内で、松尾芭蕉とトフノスゲ?七北田川は冠川?など、気になるキーワードから、みなさんと岩切の歴史を探ります。

●期間/3月2日(日) 10時～11時 ●会場/3階ロビー

川柳をつたえる

和田町内会会長高橋寛さん、みやぎシルバーネット編集長千葉雅俊さん、宮城野区文化センター館長齋藤邦彦さん、震災後の日々を綴る人生の達人のお話。

●日時/3月2日(日) 11時～11時45分 ●会場/3階ロビー

新しい

「居久根のある暮らし」を描いて 中川和寿さんが描いた「みんなの

居久根」を背景に、南蒲生復興部のみなさんと新しい「居久根のある暮らし」を語ります。

●日時/3月9日(日) 10時半～12時 ●会場/3階ロビー

海をつながる

海を通じた交流の場づくりを、澤地聡一さん、YOSHIIさん、吉田祐也さん、サーファーに聴く。

●日時/3月9日(日) 12時15分～13時15分 ●会場/3階ロビー

語り合う

語りからはじまる3・11 あなたにしか語れない3・11があります。私たちの体験を未来に伝えるために一緒に考えてみましょう。

●日時/3月7日(金) 14時～16時 ●会場/第3会議室

仙台の8ミリ映像&写真でたのしみつつ茶会

市民が撮った仙台のまちの様子を映した8ミリ映像や、懐かしい道具などを見ながら、昭和時代の記憶をみんなで楽しく語る会です。

●日時/3月9日(日) 10時～12時 ●会場/第3会議室

つながることが まちのチカラになる

アートを通じて、多様な出合いを生む藤浩志さん(十和田市現代美術館副館長)と、地域の復興に向かう団体のお話から、いろいろな人が思いを寄せ合う地域について考えます。

●日時/3月9日(日) 17時～19時半 ●会場/パトナシアター ●定員50人(先着順)

●問・申込み/仙台市市民活動 サポートセンター TEL/022(2)2123010

音楽を聴く

つなげよう復興の歌声… IN パトナホール 震災後に、地域の人たちの思いが結集し結成されたバンドや合唱団、被災地区の小中学校などの演奏や踊り、岡田出身口サンゼルス在住の歌手清貴さんによる復興コンサートを開催します。

●日時/3月9日(日) 13時半～16時 ●会場/パトナホール

宮城野区文化センターで 整理券配布

※このほかにも、期間中、さまざまな企画が目白押し。となたでも興味のある催しに、お気軽にご参加ください。